## いのちの授業【2年道徳】学習指導案

指導者 S・N

## 1、本時の指導

- (1)主題名 生命の尊重 3-(2)
- (2)ねらい 一人一人の生命がかけがえのないものであることを自覚し、自他の生命を尊重する心情を 養う。

## (3)指導過程

( 3 F.T.T.L	,	ナ はのごま	ナナン交回 に北二	又相さわっ生なの	12 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
段階		生徒の活動	主な発問 と指示	予想される生徒の	指導上の留意点	
				反応		
導	気	1、各自の	グループになり、		・事前に予告し、お家の方から聞いて	
入	ブ	名前の由来	自分の名前がどの		くるようにする。導入の扱いなので深	
	<	について発	ように付けられた		入りせず、自分の誕生時の親の思いに	
5		表し合う。	か、名づけ由来につ		触れる程度にする。	
分			いて、一人ずつ発表			
			しましょう。			
展	٢	2、ビデオ	ビデオを見た感	・感動した	・「両親」の心情に深く迫ることで、	
開	6	を視聴し、	想を発表してくだ	・かわいそう	そこから生命の尊重について考えさ	
	え	両親の心情	さい。		せたい。	
	る	について考			・補助資料として著書「たったひとつ	
3		える。	この最後の秋雪	・絶対この子を死な	のたからもの」のプロローグより抜粋	
0			くんを抱いている	せたくない	する。また、秋雪くんのこと、加藤夫	
分			父親はどんな気持	・俺が守ってやる	妻の思いを、写真を提示しながら説明	
			ちなのでしょう。	・いつまで抱いてい	する。	
				られるだろう	・具体的な言葉にするのは難しいと思	
					│ │ われるが、書く活動を取り入れ考える │	
	見		   両親に与えられ	  ・秋雪くんそのもの	時間を確保したい。	
	つ		たのは、どんな「お	・我が子への愛情	<補助発問>	
	め		くりもの」だったの	・たくさんの思い出	重い病気を持って生まれた秋雪く	
	る		でしょう。	・いのちの存在の大	んが両親に与えたものは、苦労だけだし	
				きさ・重さ	ったのかな。	
					我が子を亡くしながらも、CM を見	
					たときの両親はどんな気持ちになっ	
					たのかな。	
終	高	3、お家の	お家の方からの	・生まれてきたこ	・生命に大切さ、自分の存在のかけが	
末	め	方からのメ	   メッセージを読み、	と、健康に生きてい	えのなさを保護者の手紙から感じ取	
	る	ッセージを	返事の手紙を書き	ることを肯定的に	らせたい。	
1	3	うと フを	医事の子紙を旨と   ましょう。	とらえ、その命を積	うせんが。   ・日頃の行動を考えさせながら、自分	
5		の手紙を書	,	極的に生かしてい	自身に向き合わせたい。表面的なこと	
分		の一派を言		くところに人間と	だけでなく、こんなことがあった、と	
נל		``		しての喜びがある		
					いうことを具体的に表現させる。	
				ことに気づかせた	・「言葉にできない」の曲を BGM で流	
				ι1 <sub>°</sub>	し、雰囲気を高める。	